


* 課題番号	個 08-051
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年3月11日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 清水 正 
 所属・資格 芸術学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <u>一般研究(個人研究)</u> / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 ドストエフスキー文学の検証—『悪霊』を中心に	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	
	清水 正	江古田文学／椎名麟三とドストエフスキー (356頁～390頁)
		72号
		2009年12月
		江古田文学会

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個08-052
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 31 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 山下 聖美



所属・資格 芸術学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	日本文学における〈キャラクター〉の系譜																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 山下聖美 ・研究分担者 (役割分担)																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山下 聖美</td> <td>『芸術学部紀要』〈妹〉というキャラクター (37頁~44頁)</td> <td>49号</td> <td>平成21年3月</td> <td>日本大学芸術学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	山下 聖美	『芸術学部紀要』〈妹〉というキャラクター (37頁~44頁)	49号	平成21年3月	日本大学芸術学部																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
山下 聖美	『芸術学部紀要』〈妹〉というキャラクター (37頁~44頁)	49号	平成21年3月	日本大学芸術学部																																			

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-053
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 3月 31日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 桑 原 淳 司 
 所属・資格 _____ 芸術学部 _____ 教 授 _____

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	こどもの遊びを活性化する移動式環境遊具の開発と研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑原淳司</td> <td>こども環境学会</td> <td>遊び環境を改善するための新たな遊具デザインの方法と提案 Big Hat提案</td> <td>平成22年4月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	桑原淳司	こども環境学会	遊び環境を改善するための新たな遊具デザインの方法と提案 Big Hat 提案	平成22年4月																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
桑原淳司	こども環境学会	遊び環境を改善するための新たな遊具デザインの方法と提案 Big Hat 提案	平成22年4月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>桑原淳司</td> <td>日本大学芸術学部 紀要「創作篇」</td> <td>Vol 34</td> <td>22年3月</td> <td>日本大学芸術学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	桑原淳司	日本大学芸術学部 紀要「創作篇」	Vol 34	22年3月	日本大学芸術学部																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
桑原淳司	日本大学芸術学部 紀要「創作篇」	Vol 34	22年3月	日本大学芸術学部																																								

※ホームページ等での公開の (可)・ (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
日除けテント 特許出願中 特許庁 特願 2010-49102 2010年3月5日出願領収済み NUBIC 番号 11457			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
平成 21 年度日本大学芸術学部研究において、本研究の応用として伸縮性素材を用いた立体型遊具の開発に展開			
(その他)			
本研究課題である「こどもの遊びを活性化する移動式環境遊具の開発と研究」は、意匠登録ならびに特許出願の可能性を Nubic と協議を行い、特許申請を検討していたため、公表を特許庁の出願領収まで控える処置を行った。			
特許庁より 2010 年 3 月 5 日出願領収として受理されたため、本学紀要「創作篇」Vo134 に特許申請中とし、掲載を行うこととした。また、2010 年 4 月開催のこども環境学会広島大会にてポスター発表権を得たため、本研究成果を発表公開する。			

* 課題番号	個 08-054
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年4月10日

日本大学 総長 殿

氏 名 深 谷 光 美



所属・資格 芸術学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	伝統的技法の記録化と伝達																																											
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）																																											
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>深谷 基弘（光美）</td> <td>生存科学A／老いの空間</td> <td>19</td> <td>平成20年9月</td> <td>財団法人 生存科学研究所</td> </tr> <tr> <td>深谷 基弘（光美）他</td> <td>棲み家～木造実寸製作の記録～</td> <td> </td> <td>平成20年12月</td> <td>日本大学芸術学部</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	深谷 基弘（光美）	生存科学A／老いの空間	19	平成20年9月	財団法人 生存科学研究所	深谷 基弘（光美）他	棲み家～木造実寸製作の記録～		平成20年12月	日本大学芸術学部																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
深谷 基弘（光美）	生存科学A／老いの空間	19	平成20年9月	財団法人 生存科学研究所																																								
深谷 基弘（光美）他	棲み家～木造実寸製作の記録～		平成20年12月	日本大学芸術学部																																								

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
深谷 基弘 (光美)	～現代に活かす伝統木造と木材加工の課題と可能性～ 講演会チラシ	棟梁の技術思想を学ぶ	1
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
伝統的工法の研究は、構造や素材にとどまらず空間の質的問題まで拡がりをもつ。“老いの空間”はその一例である。			
(その他)			

* 課題番号	個 08-055
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年3月30日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 佐藤 徹



所属・資格 准教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注:該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 環境型社会対応機器の研究「太陽光発電（ソーラーパネル）を利用した製品の動作モデルの実証実験」	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
佐藤 徹	「プロと卵のエコデザイン展 2008」DM・パンフレット	「デザインモデル」を出展	各1
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-057
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 3月 31日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 蛸子 真理央

所属・資格 _____ 芸術学部・助教



下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 主に自分で調合した溶き油を使用した油彩技法による平面絵画の制作と発表に関する研究	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	巻・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の 可 否） いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
蛭子真理央	カラーズ若きカラリスト三人展	油彩作品 12 枚を東京大丸百貨店にて発表 5 月	
蛭子真理央	太陽展	油彩作品 1 点を日動画廊本店にて発表 5 月	
蛭子真理央	第 2 回五つの窓展	油彩作品 4 点をギャラリーセイコウドウにて発表 9 月	
蛭子真理央	蛭子真理央展	油彩作品 43 点を日動画廊本店にて発表 9 月	
蛭子真理央	蛭子真理央展 カタログ	展覧会カタログを日動出版より発行 9 月	
蛭子真理央	日動展	油彩作品 1 点を日動画廊本店にて発表 10 月	
蛭子真理央	Alma 展	油彩作品 4 点をギャラリーアークにて発表 12 月	
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

【別紙様式 8】

* 課題番号

個08-058

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年12月27日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 石田純之助



所属・資格 _____ 芸術学部デザイン学科・助教

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2 研究課題	EV エコランカーのデザイン設計、制作／走行テスト及びレース出場による実証・検証			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
石田純之助	プレゼンテーションパネル	写真／制作過程及び仕様／ 図面／平成22年10月30～31日 出場レース結果	3
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


課題番号	個 08-059
------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23 年 4 月 9 日

日 本 大 学 総 長 殿


氏 名 北 川 道 男 

所属・資格 国際関係学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	EUにおける会計コンバージェンスプロセス			
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者（役割分担） 			
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
北 川 道 男	日本監査研究学会第33回大会	内部監査報告書の開示とコーポレート・ガバナンスの透明性	平成22年10月31日	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
北 川 道 男	日本大学国際関係学部国際関係研究所『国際関係研究』「内部監査人報告書の開示とコーポレート・ガバナンスの透明性	第31巻 2号	平成23年2月	日本大学国際関係学部 国際関係研究所

※ホームページ等での公開の 是 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
北川道男	日大学生新聞	平成21年11月25日	
			
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			
日本大学国際関係学部「平成21年度市民公開講座」「会計基準のコンバージェンス」			

* 課題番号	個 08-060
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 3月 18日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 山 田 竜 作



所属・資格 国際関係学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	20世紀デモクラシー論における多元主義とシティズンシップに関する研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山田竜作</td> <td>政治思想学会</td> <td>デモクラシーとフェミニズム ——キャロル・ペイトマン再考——</td> <td>平成21年5月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	山田竜作	政治思想学会	デモクラシーとフェミニズム ——キャロル・ペイトマン再考——	平成21年5月																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
山田竜作	政治思想学会	デモクラシーとフェミニズム ——キャロル・ペイトマン再考——	平成21年5月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>現代的なシティズンシップ論およびベーシック・インカム論の重要な淵源のひとつに、フェミニズムからの民主主義理論 (および福祉国家論) 批判があることが、再確認された。</p>			
(その他)			

【別紙様式 8】

* 課題番号	個08-061
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 4月 10日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 石 川 元 康



所属・資格 短期大学部食物栄養学科・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																														
2 研究課題	付着藻類の生育環境と培養に関する基礎的研究																																	
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																	
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石川元康・岩井美幸・奥間亜由未</td> <td>富士山麓アカデミック & サイエンスフェア 2009</td> <td>芝川におけるカワノリの生育環境</td> <td>2009年12月、p.126</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	石川元康・岩井美幸・奥間亜由未	富士山麓アカデミック & サイエンスフェア 2009	芝川におけるカワノリの生育環境	2009年12月、p.126																						
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																															
石川元康・岩井美幸・奥間亜由未	富士山麓アカデミック & サイエンスフェア 2009	芝川におけるカワノリの生育環境	2009年12月、p.126																															
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石川元康</td> <td>日本大学国際関係学部生活科学研究所報告/日本におけるカワノリの生育地</td> <td>第32号</td> <td>2010年3月</td> <td>日本大学国際関係学部生活科学研究所、pp.49-58.</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	石川元康	日本大学国際関係学部生活科学研究所報告/日本におけるカワノリの生育地	第32号	2010年3月	日本大学国際関係学部生活科学研究所、pp.49-58.																				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
石川元康	日本大学国際関係学部生活科学研究所報告/日本におけるカワノリの生育地	第32号	2010年3月	日本大学国際関係学部生活科学研究所、pp.49-58.																														

※ホームページ等での公開の (☑)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
富士宮市フードバレー推進協議会委託研究費			
(他の研究への発展)			
(その他)			
2009年7月14日、岳南朝日新聞朝刊			
2009年7月15日、静岡新聞朝刊			
2010年3月29日、静岡新聞朝刊			
上記各新聞に研究紹介記事掲載			

* 課題番号	個08-062
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成24年4月16日

日本大学 総長 殿

氏 名 宮川 幸司



所属・資格 短期大学部（三島）商経学科 教授

下記のとおり提出いたします。

1	種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題	大正時代の観光絵葉書ガラス原版の保存及び伊豆の観光資源としての活用に関する研究	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担） 	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）		
	発表者名	学会名	発表テーマ
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）		
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号
	宮川 幸司	日本大学国際関係学部生活科学研究所報告／伊豆地域の観光絵葉書に関する研究	第34号
			年月
			2012年3月
			出版社・発行所
			日本大学国際関係学部生活科学研究所

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-063
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年3月17日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 池 田 裕 美



所属・資格 短期大学部 食物栄養学科 専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	静岡県富士宮市における市民参加型の食育に関する研究																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>池田 裕美</td> <td>7th Hawaii International Conference on Education</td> <td>Survey on Nutrition Education in Fujinomiya city, Japan</td> <td>January 4-7, 2009</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	池田 裕美	7 th Hawaii International Conference on Education	Survey on Nutrition Education in Fujinomiya city, Japan	January 4-7, 2009																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
池田 裕美	7 th Hawaii International Conference on Education	Survey on Nutrition Education in Fujinomiya city, Japan	January 4-7, 2009																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			

※ホームページ等での公開の (可)・ (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表
新聞掲載

発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日

その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)

氏名	提出物	内容	数量

7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)

(知的財産権の取得)

(外部資金の獲得)

(他の研究への発展)

(その他)

* 課題番号	個 08-064
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 20 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 上原義正 上原

所属・資格 日本大学国際関係学部 助教

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	スポーツ選手の英語能力の伸長率と言語環境の変化に伴う関の調査																																				
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 上原義正 ・研究分担者 (役割分担) 																																				
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">発表者名</th> <th style="width: 25%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 15%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上原義正</td> <td>中部地区英語教育学会 2009年度大会</td> <td>スポーツ学生の英語に対する関値の変化の調査</td> <td>平成 21 年 6 月 28 日</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	上原義正	中部地区英語教育学会 2009年度大会	スポーツ学生の英語に対する関値の変化の調査	平成 21 年 6 月 28 日																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																		
上原義正	中部地区英語教育学会 2009年度大会	スポーツ学生の英語に対する関値の変化の調査	平成 21 年 6 月 28 日																																		
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 30%;">著書名・雑誌名/論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 25%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																	

※ホームページ等での公開の (◎・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p> <p>(外部資金の獲得)</p> <p>(他の研究への発展) English for Specific Purpose (ESP:特化された英語) に関しての調査を深化させたことにより、平成 21 年度国際関係学部国際関係研究所個人研究『効果のある授業コンテンツモデルの研究』の成果へとつながることが明らかとなった。つまり、英語学習者に、より自律的 (autonomous) で自己調整 (self-regulated) 学習を ESP を中心にした授業において、教師がそれを促進する動機づけの方法論が当該研究から関連する研究への大きなヒントを得た、ということである。スポーツ選手 (学生) が置かれている異なった学習環境および彼らが体験した「言語環境」は特化されているという点で当該研究の波及効果および汎用化はすべからず限定されると考えられようが、しかし、ESP を中心にした英語教育における動機づけ研究では、他の状況下においても当該研究から得られた結果は汎用または応用が可能である。</p> <p>(その他)</p>			

*課題番号	個08-065
-------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 23年 1月 17日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 重 城 哲 

所属・資格 _____ 理 工 学 部 ・ 専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	幼児期における運動能力の発達と身体発育の影響																																									
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担) 																																									
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">発表者名</th> <th style="width: 20%;">学会名</th> <th style="width: 40%;">発表テーマ</th> <th style="width: 20%;">発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>重城 哲 他</td> <td>日本体育学会第61回大会</td> <td>幼児期における運動能力の発達と身体発育の影響 －走運動、ボール投げ、ドロップジャンプとの関係－</td> <td>2010年9月10日</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	重城 哲 他	日本体育学会第61回大会	幼児期における運動能力の発達と身体発育の影響 －走運動、ボール投げ、ドロップジャンプとの関係－	2010年9月10日																																
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																							
重城 哲 他	日本体育学会第61回大会	幼児期における運動能力の発達と身体発育の影響 －走運動、ボール投げ、ドロップジャンプとの関係－	2010年9月10日																																							
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">著者・執筆者</th> <th style="width: 30%;">著書名・雑誌名／論文名</th> <th style="width: 10%;">巻・号</th> <th style="width: 10%;">年月</th> <th style="width: 30%;">出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																						

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-066
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 8 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 田 中 倫 子



所属・資格 理 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	カーボンナノチューブを用いた新機能ハイブリッドデバイスの第一原理的予測			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)				
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
Michiko Tanaka, Takazumi Kawai and Susumu Okada	International Symposium on Carbon Nanotube Nanoelectronics	Electronic Structure of Oxygen Molecules Encapsulated in Carbon Nanotubes	June, 10, 2009	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-067
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 4月 15日

日本大学 総長 殿

氏 名 長谷部 寛



所属・資格 理工学部・助手

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	近接して配置された複数構造物間の気流性状に関する研究																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長谷部 寛 他</td> <td>日本風工学会</td> <td>スプリットフィルムプローブを用いたタンデム配置正方形角柱周辺の流れの測定</td> <td>2009年5月</td> </tr> <tr> <td>長谷部 寛 他</td> <td>土木学会</td> <td>中心間隔比4のタンデム配置正方形角柱周辺の気流特性</td> <td>2009年9月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	長谷部 寛 他	日本風工学会	スプリットフィルムプローブを用いたタンデム配置正方形角柱周辺の流れの測定	2009年5月	長谷部 寛 他	土木学会	中心間隔比4のタンデム配置正方形角柱周辺の気流特性	2009年9月																							
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
長谷部 寛 他	日本風工学会	スプリットフィルムプローブを用いたタンデム配置正方形角柱周辺の流れの測定	2009年5月																																				
長谷部 寛 他	土木学会	中心間隔比4のタンデム配置正方形角柱周辺の気流特性	2009年9月																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			

※ホームページ等での公開の (可)・ (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得) 特になし</p> <p>(外部資金の獲得) 特になし</p> <p>(他の研究への発展) 測定したデータを基に、新しい乱流解析モデルの構築を行っている。複数物体まわりの流れは複雑で、その周辺の風速を面的に測定した研究は僅かであり、希少なデータに基づき開発する乱流モデルは、複雑な流れ場への適用性が高いと考えている。</p> <p>(その他) 2つ目の成果である「中心間隔比4のタンデム配置正方形角柱周辺の気流特性」を、土木学会平成21年全国大会第64回年次学術講演会にて発表し、その結果、優秀講演者賞を受賞した。</p>			

* 課題番号	個08-068
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 11 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 石坂 哲宏



所属・資格 理 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	開発途上国における混合交通の走行挙動の把握に関する研究			
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）			
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
石坂 哲宏 他	第5回タイ全国交通会議 (The 5 th National Transport Conference)	Development of Motorcycle Simulation Model under Mixed Traffic Flow	2008年12月	
石坂 哲宏 他	第12回世界交通学会 (The 12 th World Conference on Transport Research)	Development of Motorcycle Running Simulation Model under Mixed Traffic Flow and its Verification	2010年7月	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
外部資金の獲得への取り組みとして、平成22年度科学研究補助費に下記の通り申請を行った。 ・若手研究 (B) 「混合交通における二輪車走行シミュレーションモデルの構築」			
(他の研究への発展)			
二輪車の走行挙動をより正確に把握するために「距離画像センサ」と呼ばれるセンサの計測技術の確立を平成21年度に行った。これらの研究成果は既に学会において下記の通り発表している。今後このセンサを開発途上国の二輪車の走行挙動計測に用いて、本助成研究で構築した二輪車走行シミュレーションモデルのより一層の改善を図っていく予定である。 林 佑樹、佐田達典、一見健太、石坂哲宏：距離画像センサを用いた交通流検知に関する基礎的実験、土木学会第34回情報利用技術シンポジウム、2009年10月			
(その他)			

* 課題番号	個08-069
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 3月 16日

日本大学 総長 殿

氏 名 川島和彦



所属・資格 工学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	歴史的街区における街路空間の整備手法に関する研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川島和彦・高瀬治郎</td> <td>日本大学理工学部学術講演会</td> <td>ベトナム・ハノイ旧市街地における建築更新の実態に関する研究</td> <td>2009年11月</td> </tr> <tr> <td>高瀬治郎・力武俊輔・川島和彦</td> <td>日本建築学会</td> <td>ベトナム・ハノイ旧市街地の街路空間特性に関する研究 その1</td> <td>2009年8月</td> </tr> <tr> <td>力武俊輔・高瀬治郎・川島和彦</td> <td>日本建築学会</td> <td>ベトナム・ハノイ旧市街地の街路空間特性に関する研究 その2</td> <td>2009年8月</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	川島和彦・高瀬治郎	日本大学理工学部学術講演会	ベトナム・ハノイ旧市街地における建築更新の実態に関する研究	2009年11月	高瀬治郎・力武俊輔・川島和彦	日本建築学会	ベトナム・ハノイ旧市街地の街路空間特性に関する研究 その1	2009年8月	力武俊輔・高瀬治郎・川島和彦	日本建築学会	ベトナム・ハノイ旧市街地の街路空間特性に関する研究 その2	2009年8月																								
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
川島和彦・高瀬治郎	日本大学理工学部学術講演会	ベトナム・ハノイ旧市街地における建築更新の実態に関する研究	2009年11月																																									
高瀬治郎・力武俊輔・川島和彦	日本建築学会	ベトナム・ハノイ旧市街地の街路空間特性に関する研究 その1	2009年8月																																									
力武俊輔・高瀬治郎・川島和彦	日本建築学会	ベトナム・ハノイ旧市街地の街路空間特性に関する研究 その2	2009年8月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	なし																																		
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
なし																																												

※ホームページ等での公開の (可) (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
なし			
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
なし			
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
なし			
(外部資金の獲得)			
なし			
(他の研究への発展)			
なし			
(その他)			
なし			

* 課題番号	個08-070
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年3月12日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 山 本 和 清

所属・資格 理 工 学 部 ・ 専 任 講 師



下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注: 該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	海洋性レクリエーションにおけるピクトグラムの行動誘発効果に関する基礎的研究			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
山本和清 他4名	日本沿岸域学会	海洋性レクリエーションを誘発する行動誘発サインの提案に関する研究	平成21年7月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-071
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 15 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 鈴木康方



所属・資格 理工学部・助手

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <u>一般研究(個人研究)</u> / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 翼面付着流れから発生する空力騒音低減の基盤技術の開発				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	Yasumasa Suzuki, et al.	Inter-noise2008	Experimental Study of Airfoil Noise with Control of Tip Vortex Flow	2008年10月	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
	鈴木康方, ほか	日本機械学会論文集 (B 編) / 翼端流れの制御による翼騒音への影響	75 巻 751 号	2009年3月	日本機械学会

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>翼表面に素材・部材を設置して流れの制御による騒音制御する試みとそのアイデアを、研究室内で別途進めていた翼端渦騒音の研究に応用してみたところ、部材を翼端面に設置することで空力性能を損なわずに翼端渦騒音の低減が可能となる成果が得られた。翼面部への設置では空力性能が損なわれてしまうケースが多く、翼端渦騒音制御の発展研究の方が大きな成果となったため、この成果が雑誌掲載に至った。</p>			
(その他)			
<p>翼面への素材の貼り付けは、空力性能が維持しにくい観点から流体機械への応用は困難であったが、空力性能が関係しない場合として、風洞実験で模型指示部が気流にさらされる場合の騒音発生防止策に役立てられた。</p>			

* 課題番号	個 08-072
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 30 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 田 畑 昭 久



所属・資格 _____ 理 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <u>一般研究(個人研究)</u> / 一般研究(共同研究) / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 サポートベクターマシンを用いた複数センサ信号統合による構造健全性診断	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	栗原大, 田畑昭久, 青木義男	平成 20 年度日本大学理工 学部学術講演会
	橋本賢, 栗原大, 田畑昭久, 青木義男	平成 21 年度日本大学理工 学部学術講演会
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
		卷・号
		年月
		出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>機械構造物の振動測定により, 生じた損傷の箇所や程度を診断する方法を本助成の研究により確立した。本研究では特に自動車構造を対象にしたが, 他の機械構造物の健全性診断にも応用可能であり, 新たな対象として昇降機や牽引に多く用いられているワイヤーロープの健全性自動モニタリング等, 他の構造物の安全性確保を課題とした研究の発展につながっている。</p>			
(その他)			

* 課題番号	個08-073
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 大竹智久



所属・資格 理工学部・助手

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 低レイノルズ数領域における翼の空力特性	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	卷・号	年月
	出版社・発行所	
	大竹智久, 本橋龍郎	日本航空宇宙学会論文集/低Re数領域でのNACA0012翼まわりの流れ場 第1報翼流出の特性
	57巻, 第669号	2009年 10月
		(社)日本航空宇宙学会

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-074
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 19 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 直 井 和 久



所属・資格 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2 研究課題	再生可能エネルギーを利用した発電装置に関する研究			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
清水, 鈴木, 直井, 塩野, 柳平, 鈴木	平成 20 年度日本大学工学部学術講演会	円弧キャンパー翼垂直軸形風車における補助翼の寸法が起動特性に及ぼす影響	2008-11	
野本, 直井, 塩野, 柳平, 鈴木	平成 20 年度日本大学工学部学術講演会	剣崎灯台・松前小島灯台における垂直軸形タービンによる風力発電装置の特性	2008-11	
鈴木, 清水, 直井, 塩野, 柳平, 鈴木	平成 20 年度日本大学工学部学術講演会	補助翼の取付位置が円弧キャンパー翼垂直軸形風車の起動トルク特性に及ぼす影響	2008-11	
清水, 直井, 塩野, 進藤, 柳平, 鈴木	平成 21 年電気学会全国大会	円弧キャンパー翼垂直軸形風車における補助翼が起動特性に及ぼす影響～取付位置と寸法に関する検討～	2009-3	
鈴木, 清水, 直井, 塩野, 柳平, 進藤, 鈴木	平成 21 年電気学会全国大会	円弧キャンパー翼垂直軸形風車に用いる開閉式補助翼の基礎検討	2009-3	
野本, 直井, 塩野, 柳平, 進藤, 鈴木	平成 21 年電気学会全国大会	潮流発電装置における発電電力量に関する検討	2009-3	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (何) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-075
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 7 月 22 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 芦澤 好人



所属・資格 理 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	高空間分解能磁気センサのための磁気表面プラズモン共鳴効果の導出			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
Y. Ashizawa, T. Nawata, S. Shinohara, and K. Nakagawa	The 2nd International Symposium on Advanced Magnetic Materials and Applications	Surface Plasmon Resonance in Co/Cu Sputtering films	July 14, 2010	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
プラズモンに関する研究により、以下の外部資金の採択に至った			
H22年度 科学研究費補助金 (若手 B) 312 万円			
H22年度 双葉電子記念財団 自然科学研究助成金 100 万円			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-076
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 4月 15日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 伊 掛 浩 輝



所属・資格 理 工 学 部 ・ 専 任 講 師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																								
2 研究課題	ポリエチレングリコール/酸化チタンハイブリッドの光学特性に及ぼすナノ構造依存性																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊掛浩輝, 島崎尚美, 山越智恵美, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫</td> <td>第58回高分子学会年次大会</td> <td>ポリエチレングリコール/チタニアナノコンポジットの光学的性質</td> <td>平成21年5月</td> </tr> <tr> <td>清水文子, 玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫</td> <td>第58回高分子学会年次大会</td> <td>ポリプロピレングリコール/チタニア/ジルコニアハイブリッドフィルムの光学的性質</td> <td>平成21年5月</td> </tr> <tr> <td>玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫</td> <td>第58回高分子学会年次大会</td> <td>分子量の違いによるポリカーボネートジオール/チタニアハイブリッドの微細構造変化</td> <td>平成21年5月</td> </tr> <tr> <td>清水文子, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫</td> <td>第58回高分子討論会</td> <td>ポリプロピレングリコール/チタニア/ジルコニアハイブリッドの光学的性質と微細構造</td> <td>平成21年9月</td> </tr> <tr> <td>玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫</td> <td>第58回高分子討論会</td> <td>分子量及び化学構造の違いによるポリカーボネートジオール/チタニアハイブリッドの微細構造</td> <td>平成21年9月</td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	伊掛浩輝, 島崎尚美, 山越智恵美, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子学会年次大会	ポリエチレングリコール/チタニアナノコンポジットの光学的性質	平成21年5月	清水文子, 玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子学会年次大会	ポリプロピレングリコール/チタニア/ジルコニアハイブリッドフィルムの光学的性質	平成21年5月	玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子学会年次大会	分子量の違いによるポリカーボネートジオール/チタニアハイブリッドの微細構造変化	平成21年5月	清水文子, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子討論会	ポリプロピレングリコール/チタニア/ジルコニアハイブリッドの光学的性質と微細構造	平成21年9月	玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子討論会	分子量及び化学構造の違いによるポリカーボネートジオール/チタニアハイブリッドの微細構造	平成21年9月
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																									
伊掛浩輝, 島崎尚美, 山越智恵美, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子学会年次大会	ポリエチレングリコール/チタニアナノコンポジットの光学的性質	平成21年5月																									
清水文子, 玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子学会年次大会	ポリプロピレングリコール/チタニア/ジルコニアハイブリッドフィルムの光学的性質	平成21年5月																									
玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子学会年次大会	分子量の違いによるポリカーボネートジオール/チタニアハイブリッドの微細構造変化	平成21年5月																									
清水文子, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子討論会	ポリプロピレングリコール/チタニア/ジルコニアハイブリッドの光学的性質と微細構造	平成21年9月																									
玉繁千里, 伊掛浩輝, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	第58回高分子討論会	分子量及び化学構造の違いによるポリカーボネートジオール/チタニアハイブリッドの微細構造	平成21年9月																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊掛浩輝, 玉繁千里, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫</td> <td>化学構造の異なるポリカーボネートジオールとチタニアからなるハイブリッドの微細構造/高分子論文集</td> <td>掲載決定</td> <td>審査終了日 平成22年 3月4日</td> <td>(社) 高分子学会</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	伊掛浩輝, 玉繁千里, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	化学構造の異なるポリカーボネートジオールとチタニアからなるハイブリッドの微細構造/高分子論文集	掲載決定	審査終了日 平成22年 3月4日	(社) 高分子学会														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																								
伊掛浩輝, 玉繁千里, 清水繁, 室賀嘉夫, 栗田公夫	化学構造の異なるポリカーボネートジオールとチタニアからなるハイブリッドの微細構造/高分子論文集	掲載決定	審査終了日 平成22年 3月4日	(社) 高分子学会																								

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展) 本学術研究から得られた知見を発展させる形として, 以下のテーマが始動している.			
1) 日本大学学術研究戦略プロジェクト「ナノ物質を基盤とする光・量子技術の極限追求」(研究代表者: 理工 大月穰 教授). 本課題では, 有機高分子や酸化チタンのナノメートルサイズでの構造制御を試み, 光学材料への応用発展を目指すことを目的としている.			
2) 高エネルギー加速器研究機構放射光科学研究施設での共同利用テーマ「2009G139 ステレオコンプレックス型ポリ乳酸/シリカハイブリッドの創製」(課題代表者: 理工 伊掛 浩輝 専任講師). 本課題では, 有機高分子であるポリ乳酸の高次構造をコントロールし, これと無機物質であるシリカとをナノメートルサイズでハイブリッド化することで熱的, 機械的に安定な新規複合材料を供することを目的としている.			
(その他)			

* 課題番号	個08-077
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 4月 15日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 浅井 朋彦
 所属・資格 理工学部・専任講師



下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	極限的高ベータプラズマの平衡における流れの役割																																			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戸室啓明, 井口一輝, 浅井朋彦</td> <td>第26回プラズマ・核融合学会年会</td> <td>多チャンネル PMT トモグラフィカメラによるコンパクトトーラスの放射光分布計測</td> <td>2009/12/04</td> </tr> <tr> <td>平山泰行, 田邨尚郎, 小森谷勇樹, 浅井朋彦他</td> <td>第26回プラズマ・核融合学会年会</td> <td>FRC プラズマにおけるトロイダル流の空間分布</td> <td>2009/12/04</td> </tr> <tr> <td>高橋俊樹, 浅井朋彦, 高橋努</td> <td>第26回プラズマ・核融合学会年会</td> <td>FRC のトロイダル流速時間発展における電離の影響</td> <td>2009/12/04</td> </tr> <tr> <td>田澤仁康, 小石章太郎, 板垣宏知, 浅井朋彦他</td> <td>第26回プラズマ・核融合学会年会</td> <td>磁束保持管中の磁化プラズマ流の緩和現象</td> <td>2009/12/04</td> </tr> <tr> <td>Y.Komoriya, Y.Hirayama, Y.Fujikawa, T.Asai et al.</td> <td>19th International Toki Conference</td> <td>Toroidal spin-up and velocity shear of a field-reversed configuration plasma</td> <td>2009/12/09</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	戸室啓明, 井口一輝, 浅井朋彦	第26回プラズマ・核融合学会年会	多チャンネル PMT トモグラフィカメラによるコンパクトトーラスの放射光分布計測	2009/12/04	平山泰行, 田邨尚郎, 小森谷勇樹, 浅井朋彦他	第26回プラズマ・核融合学会年会	FRC プラズマにおけるトロイダル流の空間分布	2009/12/04	高橋俊樹, 浅井朋彦, 高橋努	第26回プラズマ・核融合学会年会	FRC のトロイダル流速時間発展における電離の影響	2009/12/04	田澤仁康, 小石章太郎, 板垣宏知, 浅井朋彦他	第26回プラズマ・核融合学会年会	磁束保持管中の磁化プラズマ流の緩和現象	2009/12/04	Y.Komoriya, Y.Hirayama, Y.Fujikawa, T.Asai et al.	19th International Toki Conference	Toroidal spin-up and velocity shear of a field-reversed configuration plasma	2009/12/09								
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																	
戸室啓明, 井口一輝, 浅井朋彦	第26回プラズマ・核融合学会年会	多チャンネル PMT トモグラフィカメラによるコンパクトトーラスの放射光分布計測	2009/12/04																																	
平山泰行, 田邨尚郎, 小森谷勇樹, 浅井朋彦他	第26回プラズマ・核融合学会年会	FRC プラズマにおけるトロイダル流の空間分布	2009/12/04																																	
高橋俊樹, 浅井朋彦, 高橋努	第26回プラズマ・核融合学会年会	FRC のトロイダル流速時間発展における電離の影響	2009/12/04																																	
田澤仁康, 小石章太郎, 板垣宏知, 浅井朋彦他	第26回プラズマ・核融合学会年会	磁束保持管中の磁化プラズマ流の緩和現象	2009/12/04																																	
Y.Komoriya, Y.Hirayama, Y.Fujikawa, T.Asai et al.	19th International Toki Conference	Toroidal spin-up and velocity shear of a field-reversed configuration plasma	2009/12/09																																	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N.Yamamoto, Y.Matsuzawa, Y.Komoriya, Y.Hirayama, T.Asai et al.</td> <td>Fusion Science and Technology / Self-Generated Toroidal Flow in a High-Beta Compact Toroid with Mirror Configuration</td> <td>55・2T</td> <td>2009年2月</td> <td>American Nuclear Society</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	N.Yamamoto, Y.Matsuzawa, Y.Komoriya, Y.Hirayama, T.Asai et al.	Fusion Science and Technology / Self-Generated Toroidal Flow in a High-Beta Compact Toroid with Mirror Configuration	55・2T	2009年2月	American Nuclear Society																						
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																
N.Yamamoto, Y.Matsuzawa, Y.Komoriya, Y.Hirayama, T.Asai et al.	Fusion Science and Technology / Self-Generated Toroidal Flow in a High-Beta Compact Toroid with Mirror Configuration	55・2T	2009年2月	American Nuclear Society																																

※ホームページ等での公開の(可)否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p> <p>プラズマ光源とその紫外光発生方法, 発明者: 浅井朋彦ほか4名, PCT/JP2010/053213, 出願年月日: 2010/03/01</p>			
<p>(外部資金の獲得)</p> <p>科学研究費補助金 (若手研究 (B)) 「二流体電磁流体力学理論に基づく高ベータプラズマの平衡および巨視的安定性の検証」 (平成21～23年度)</p>			
<p>(他の研究への発展)</p>			
<p>(その他)</p>			

* 課題番号	個08-078
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年4月14日

日本大学 総長 殿

氏 名 利根川 聡



所属・資格 理工学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1	種目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 非線形シュレーディンガー方程式とその連立系の解の構造の研究				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名			
	発表テーマ	発表年月			
	利根川 聡	大阪大学数学教室 微分方程式セミナー	空間2次元における2次の非線形クライン・ゴールドン方程式に対する波動作用素について	2009年5月	
	利根川 聡	日本数学会秋季総合分科会	空間2次元における2次の非線形クライン・ゴールドン方程式に対する波動作用素について	2009年9月	
	利根川 聡	数理解析研究所研究集会	Wave operators for the nonlinear Klein-Gordon equation with a quadratic nonlinearity in two space dimensions	2009年11月	
	利根川 聡	第3回さいたま数理解析セミナー	空間2次元の2次非線形クライン・ゴールドン方程式に対する波動作用素	2010年3月	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 可・否） いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


*課題番号	国 08-079
-------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 15 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 中 尾 圭 彦 
 所属・資格 理 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。	
2 研究課題	自律分散協調の加速器制御システムへの応用				
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)				
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	中尾圭彦	日本加速器学会	日本大学電子線利用研究施設(2004) 放射水位-1F3 加速器への影響の解析	2009年8月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			


*課題番号	個 08-080
-------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年11月1日

日本大学総長 殿

氏名 前田 知人 

所属・資格 短期大学部（船橋校舎）・助手

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。												
2 研究課題	軸性ベクトル中間子 $a_1(1260)$ の輻射崩壊反応によるクォーク複合構造の解明															
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 															
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tomohito Maeda, Shin Ishida, Kenji Yamada and Masuho Oda</td> <td>研究会「多彩なフレーバーで探る新しいハドロンの存在形態」, 名古屋大学</td> <td>‘‘New exotics’’ from the $U(12)_{SF}$-scheme</td> <td>平成20年12月</td> </tr> <tr> <td>前田知人</td> <td>「少数粒子系物理の現状と今後の展望」研究会, 大阪大学核物理研究センター</td> <td>Covariant Description of Composite Hadrons in $\tilde{U}_{SF}(12) \times O(3, 1)_L$-scheme</td> <td>平成20年12月</td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	Tomohito Maeda, Shin Ishida, Kenji Yamada and Masuho Oda	研究会「多彩なフレーバーで探る新しいハドロンの存在形態」, 名古屋大学	‘‘New exotics’’ from the $U(12)_{SF}$ -scheme	平成20年12月	前田知人	「少数粒子系物理の現状と今後の展望」研究会, 大阪大学核物理研究センター	Covariant Description of Composite Hadrons in $\tilde{U}_{SF}(12) \times O(3, 1)_L$ -scheme	平成20年12月
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月													
Tomohito Maeda, Shin Ishida, Kenji Yamada and Masuho Oda	研究会「多彩なフレーバーで探る新しいハドロンの存在形態」, 名古屋大学	‘‘New exotics’’ from the $U(12)_{SF}$ -scheme	平成20年12月													
前田知人	「少数粒子系物理の現状と今後の展望」研究会, 大阪大学核物理研究センター	Covariant Description of Composite Hadrons in $\tilde{U}_{SF}(12) \times O(3, 1)_L$ -scheme	平成20年12月													
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tomohito Maeda, Kenji Yamada, Masuho Oda and Shin Ishida</td> <td>HADRON 2009: Proceedings of the XIII International Conference on Hadron Spectroscopy / $D_{s1}^*(2710)$ and $D_{sJ}^*(2860)$ in the $\tilde{U}(12) \times O(3,1)$-scheme</td> <td>1257</td> <td>September, 2010</td> <td>American Institute of Physics</td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	Tomohito Maeda, Kenji Yamada, Masuho Oda and Shin Ishida	HADRON 2009: Proceedings of the XIII International Conference on Hadron Spectroscopy / $D_{s1}^*(2710)$ and $D_{sJ}^*(2860)$ in the $\tilde{U}(12) \times O(3,1)$ -scheme	1257	September, 2010	American Institute of Physics		
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所												
Tomohito Maeda, Kenji Yamada, Masuho Oda and Shin Ishida	HADRON 2009: Proceedings of the XIII International Conference on Hadron Spectroscopy / $D_{s1}^*(2710)$ and $D_{sJ}^*(2860)$ in the $\tilde{U}(12) \times O(3,1)$ -scheme	1257	September, 2010	American Institute of Physics												

※ホームページ等での公開の (可) (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
該当無し			
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
該当無し			
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
本研究で開発された手法を, より広い範囲に応用した研究が現在進展中であり, 論文を近日投稿予定。			
(その他)			

* 課題番号	個 08-081
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 4月 12日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 米田 哲也



所属・資格 理 工 学 部 ・ 助 手

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 有害物質の脱塩素化分解と触媒表面吸着の関連性				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・ 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	米田哲也、他4名	日本化学会第89春季年会	表面修飾シリカ担持金属触媒による水系溶媒中でのパラクロロアセトフェノンの水素化反応	2009年3月	
	Tetsuya Yoneda, et al.	EUROPACAT IX	A theoretical approach to hydrodechlorination reactivity of <i>p</i> -chloroacetophenone and <i>p</i> -chlorobenzonitrile	September, 2009	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可)・ (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
<p>量子化学計算 (Gaussian03) により、クロロアセトフェノンやクロロベンゾニトリルのルテニウム金属触媒表面上への特異的な吸着状態と吸着エネルギーの関連が見出され、これらの基質が脱塩素化反応よりも置換基の還元反応を優先させる事実を初めて説明できた。さらに発展させて、クロロアセトフェノンの水中における水素化脱塩素反応においても、量子化学計算の適用により、電子密度とその立体構造から反応経路を説明できることもわかった。以上のことから、非経験的量子化学計算は、金属クラスターの最適化が可能であるため、現代トピックスの1つである“ナノクラスター”の化学的あるいは物理的特性、反応への関与を立証する大きな発展性を有している。同時に、触媒を用いない化学量論反応においても、反応機構を明確に導く強力なツールとして期待できる。</p>			
(その他)			

* 課題番号	個 08-082
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 5 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 宮崎 康行



所属・資格 理 工 学 部 ・ 教 授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。			
2	研究課題 大型膜面宇宙構造物における膜面構造設計				
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・ 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担）				
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り，発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
	発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
	Masahiko Yamazaki and Yasuyuki Miyazaki	27th International Symposium on Space Technology and Science	Empirical Model Reduction of Spinning Solar Sail	2009 年 7 月	
	Hiraku Sakamoto and Yasuyuki Miyazaki	27th International Symposium on Space Technology and Science	Finite Element Dynamic Analysis of Solar Sail Deployment	2009 年 7 月	
	井上祥子，宮崎康行	第 51 回構造強度に関する講演会	薄膜構造物におけるしわ分布の予測手法	2009 年 7 月	
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は，理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
<ul style="list-style-type: none"> 平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金・基盤研究(A)「超小型衛星技術を応用した実践的な軌道上サービスシステムの探求」(研究代表者・松永三郎 (東工大), 直接経費 1,130 万円), 研究分担者 (分担額: 直接経費 230 万円) 平成 21 年度委託研究費「先進軽量構造システムの研究」((独)宇宙航空研究開発機構), 研究代表者 (330 万円) 			
(他の研究への発展)			
<ul style="list-style-type: none"> (独)宇宙航空研究開発機構 (JAXA) が平成 22 年 5 月 18 日に打ち上げ予定のソーラー電力セイル小型実証機 IKAROS のセイル膜面構造の設計ツール NEDA を開発し, これを JAXA に提供した. IKAROS のセイル膜面構造は NEDA を用いて設計されており, 打ち上げが成功すれば, 本研究の実用性が実証されることとなる. 東京大学・中須賀真一教授を研究代表者とする, 内閣府による最先端研究開発支援プログラム (平成 21 年度末～25 年度) の研究開発課題『日本発の「ほどよし信頼性工学」を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築』(研究総額 41 億円) に, サブテーマ「先進的超小型衛星設計論と要素技術に関する研究」のリーダーとして参加し, 膜面構造物をはじめとする展開構造物の宇宙実証・実利用に向けて研究を進めることとなった. 			
(その他)			

*課題番号	個08-083
-------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 木原 雅巳



所属・資格 理工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種 目	<input type="checkbox"/> 奨励研究 / <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
-------	--	---------------------

2 研究課題	ネットワーク位置情報を用いたエンドユーザ認証システム設計法の確立
--------	----------------------------------

3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	
--------------------------	--

4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）			
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
土屋、木原	2009年電子通信情報学会総合大会	W-CDMA 端末を使用したインターネットアクセスにおける伝送遅延特性とその決定要因	2009年3月
T. Tsutiya, M. Kihara	EFTF - IFCS 2009	Transmission Time-based Authentication Scheme Using 3G Mobile Device for DRM System	2009年4月

5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可) (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p> <p>名称：伝送遅延時間測定方法 出願番号：特願2009-038643 出願日：2009-02-20</p> <p>(外部資金の獲得)</p> <p>なし</p> <p>(他の研究への発展)</p> <p>平成21年度日本大学学術研究助成金基盤研究の基本技術となった</p> <p>(その他)</p>			

* 課題番号	個08-084
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 21 年 3 月 18 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 高野良紀



所属・資格 理工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	層状希土類-遷移金属-オキシプニクタイトの電気伝導と磁性			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
目崎, 金, 渡辺, 高瀬, 高野	第26回希土類討論会	フッ素置換した層状オキシプニクタイト LaOMPn (M=Fe, Co, Ni; Pn=As)における電気伝導性	2009年5月	
菅沼, 金, 渡辺, 高瀬, 高野	第26回希土類討論会	層状オキシプニクタイト La _{1-x} Sr _x OMAs (M=transition metals)の新規超伝導物質の探索	2009年5月	
加藤, 高瀬, 岡崎, 森吉, 黒岩, 梅山, 佐藤, 原, 宮川, 池田, 渡辺, 高野	日本物理学会2009年秋季大会	層状オキシプニクタイト(LaO)FeAsの精密構造解析	2009年9月	
菅沼, 渡辺, 高瀬, 高野	日本物理学会第65回年次大会	新規超伝導物質 Sr _{1-x} Nd _x FeAsF の作製と電氣的、磁氣的特性	2010年3月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
X. Jin, T. Masubuchi, T. Watanabe, K. Takase, Y. Takano	J. Physics Conference Series/ Electrical and Magnetic Properties of Layered Oxypnictide LaOCOPn (Pn=P, As)	150 052085-052085	2009年3月	Institute of Physics
X. Jin, T. Watanabe, K. Takase, Y. Takano	J. Alloys and Compounds/ Electrical and Magnetic Properties of La Deficient Superconductor La _{1-x} OFeP	488 L14-L16	2009年9月	Elsevier

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
LaOFeAs とホモロガスな(Sr _{1-x} Nd _x F)FeAs が約 30K で超伝導になることを見出し、現在、その超伝導特性を評価している。			
(その他)			


* 課題番号	個08-085
--------	---------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 6 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 上坂 洋司 

所属・資格 理 工 学 部 ・ 教 授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 単独及び連立非線形波動方程式の正值解と爆発解の研究	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・ 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	上坂 洋司	IMACS
		The blowup boundary for a semilinear wave equation with a convolution nonlinearity
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	Hiroshi Uesaka	Further Progress in Analysis / The Blow-up Boundary for a System of Semilinear Wave Equations
		巻・号
		年月
		出版社・発行所
		平成 21 年 5 月
		World Scientific

※ホームページ等での公開の 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-086
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 14 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 平田 典子 (河野 典子)



所属・資格 理工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	単数方程式と p 進対数一次形式			
3 研究組織	・研究代表者 平田 典子 (河野 典子) ・研究分担者 なし			
4 学会発表等	(要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)			
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
Noriko HIRATA-Kohno	Rencontre differentio-diophantienne IHP Paris, France	p-adic aspects in Diophantine approximations	2009年3月	
Noriko HIRATA-Kohno	Geometry and Analysis of Automorphic Forms of Several Variables, Tokyo University	exceptional classes of unit equations	2009年9月	
Noriko HIRATA-Kohno	Analytic Number Theory and Related Topics, RIMS, Kyoto University	p-adic logarithmic functions and applications	2009年10月	
Noriko HIRATA-Kohno	Workshop on Arithmetic Geometry, Fields Institute, Canada	Unit equations having few solutions	2008年10月	
5 著書・雑誌論文	(著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)			
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Noriko HIRATA-Kohno	RIKS Kokyuroku/Unit equations having few solutions	1665 巻	2009年10月	Kyoto University
Noriko HIRATA-Kohno and Rina TAKADA	Kyushu Journal of Mathematics /Linear forms in two elliptic logarithms in the p-adic case	64 巻 2 号	2010年9月	Kyushu University

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(他の研究への発展)			
楕円曲線の S 整数点の計算に用いられている (N. Tzanakis らに依るが, 成果物は作成中である)。			
(その他)			

* 課題番号	個 08-087
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 22 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 竹 島 正 博



所属・資格 _____ 生産工学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 高齢者の特性を考慮したリモコンインターフェースに関する研究	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・研究代表者 ・研究分担者（役割分担） （学内分担者）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
	竹 島 正 博	(社) 日本設計工学会
	リモートコントローラーにおける人間の把持特性に関する研究	2009年5月
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	卷・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-088
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 23 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 大 塚 哲 郎



所属・資格 _____ 生 産 工 学 部 ・ 教 授

下記のとおり提出いたします。

1	種 目 <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
2	研究課題 強力空中超音波音場内に発生する流れの計測	
3	研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します） ・ 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担）	
4	学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	
	発表者名	学会名
	発表テーマ	発表年月
	Tetsuro Otsuka	COMSOL CONFERENCE 2008
	根岸、池澤、大塚	2010 年春季日本音響学会講演発表会
5	著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	
	著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名
	卷・号	年月
	出版社・発行所	

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得)</p> <p>出願番号 特願 2007-271242 出願日： 平成 19 年 10 月 18 日 特開 2009-98059 名称： 微粒子状物体の拡散装置及び拡散方法 本研究はこの特許出願から実験・計算を継続的に行っているものであり、項目 4 に記載した発表を行った。</p> <p>(外部資金の獲得)</p> <p>(他の研究への発展)</p> <p>(その他)</p>			

【別紙様式 8】

* 課題番号	個-08-089
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 19 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏名 工藤 勝輝



所属・資格 生産工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2 研究課題	人工衛星リモートセンシングを用いた海岸林の環境評価			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
工藤 勝輝	日本海岸林学会誌／3次元衛星画像を用いた海岸林の景観評価	8巻1号	平成21年6月	日本海岸林学会

※ホームページ等での公開の (可) / (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-090
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 3月 5日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 亀 井 靖 子



所属・資格 生産工学部 専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																
2 研究課題	MoMA 企画展にみる Gregory Ain のアメリカ住宅建築における位置づけ																																			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																																			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																												
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亀井靖子</td> <td>家とまちなみ/「マー・ヴィスタ・トラクト」から学ぶこと (建売団地版ケース・スタディ・ハウス)</td> <td>Vol. 28 pp36-41</td> <td>2009年3月</td> <td>財団法人住宅生産振興財団</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	亀井靖子	家とまちなみ/「マー・ヴィスタ・トラクト」から学ぶこと (建売団地版ケース・スタディ・ハウス)	Vol. 28 pp36-41	2009年3月	財団法人住宅生産振興財団																						
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																
亀井靖子	家とまちなみ/「マー・ヴィスタ・トラクト」から学ぶこと (建売団地版ケース・スタディ・ハウス)	Vol. 28 pp36-41	2009年3月	財団法人住宅生産振興財団																																

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-091
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 9 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 高 橋 大 輔



所属・資格 生産工学部
応用分子化学科・助手

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注:該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	化学修飾によるタンパク質の酵素活性能への影響																																						
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)																																						
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り, 発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高橋大輔・和泉剛</td> <td>第57回高分子討論会</td> <td>コレステロール修飾によるタンパク質の活性能および構造への影響</td> <td>平成20年9月24日</td> </tr> <tr> <td>佐藤佑樹・高橋大輔・和泉剛</td> <td>日本大学生産工学部第42回学術講演会</td> <td>分子鑄型を導入したアクリルアミドゲルの卵白タンパク質吸着能</td> <td>平成21年12月5日</td> </tr> <tr> <td>滝田喜一・高橋大輔・和泉剛</td> <td>日本大学生産工学部第42回学術講演会</td> <td>Cholesterol修飾によるTrypsinの活性能への影響</td> <td>平成21年12月5日</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	高橋大輔・和泉剛	第57回高分子討論会	コレステロール修飾によるタンパク質の活性能および構造への影響	平成20年9月24日	佐藤佑樹・高橋大輔・和泉剛	日本大学生産工学部第42回学術講演会	分子鑄型を導入したアクリルアミドゲルの卵白タンパク質吸着能	平成21年12月5日	滝田喜一・高橋大輔・和泉剛	日本大学生産工学部第42回学術講演会	Cholesterol修飾によるTrypsinの活性能への影響	平成21年12月5日																			
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
高橋大輔・和泉剛	第57回高分子討論会	コレステロール修飾によるタンパク質の活性能および構造への影響	平成20年9月24日																																				
佐藤佑樹・高橋大輔・和泉剛	日本大学生産工学部第42回学術講演会	分子鑄型を導入したアクリルアミドゲルの卵白タンパク質吸着能	平成21年12月5日																																				
滝田喜一・高橋大輔・和泉剛	日本大学生産工学部第42回学術講演会	Cholesterol修飾によるTrypsinの活性能への影響	平成21年12月5日																																				
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は, 理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 22 日

日本大学 総長 殿

氏 名 田村 喜望

所属・資格 生産工学部・准教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。
2 研究課題	e-Learning におけるコンテンツの作成と学習者評価の自動化に関する研究			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
田村喜望	平成 20 年度情報教育研究集会	e-Learning におけるコンテンツの作成と学習評価の自動化について	平成 20 年 12 月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所

※ホームページ等での公開の (可)・ (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-093
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 31 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 _____ 三井 和男

所属・資格 _____ 生産工学部・教授



下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2 研究課題	生物の振る舞いに学んだアルゴリズムミックデザインに関する研究			
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究代表者 ・ 研究分担者（役割分担） 			
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
三井和男, 末次忠明	日本建築学会	造形におけるリズムと拍子に方陣を利用したプログラム ONOJIN	2009年12月	
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）				
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
瀧圭佑, 曾我部博之, 三井和男	構造工学論文集／改良型ポップフィールドネットワークを用いた連続泰の形状最適化	55B	2009年3月	日本学術会議
日本建築学会編（朝山秀一, 渡辺誠, 三井和男他）	アルゴリズムミック・デザイン 建築・都市の新しい設計手法 / 最適化(第Ⅲ章), 発見的最適化手法と構造形態（第Ⅳ章）		2009年3月	鹿島出版会

※ホームページ等での公開の (可) (否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-094
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 4 月 1 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 中西裕一



所属・資格 生産工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / <input type="radio"/> 一般研究(共同研究) / <input type="radio"/> 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																								
2 研究課題	ギリシャ正教の奉神礼における祈祷書の構造に関わる研究																																											
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 																																											
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																									
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名/論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中西裕一</td> <td>『エイコーン 東方キリスト教研究』・「東方正教の教会暦と奉神礼について」</td> <td>39, 40 合併</td> <td>2009/12/31</td> <td>東方キリスト教学会 (新世社)</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	中西裕一	『エイコーン 東方キリスト教研究』・「東方正教の教会暦と奉神礼について」	39, 40 合併	2009/12/31	東方キリスト教学会 (新世社)																														
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																								
中西裕一	『エイコーン 東方キリスト教研究』・「東方正教の教会暦と奉神礼について」	39, 40 合併	2009/12/31	東方キリスト教学会 (新世社)																																								

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-095
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22年 5月 14日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 戸次 直明



所属・資格 工学部・教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2 研究課題	磁場対流系のシミュレーションおよび時系列解析			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
戸次直明 (座長)	American Geophysical Union	Non-Gaussian Property in Solar Physics	2008年12月12日	
戸次直明, 清野健, 金野秀敏	日本物理学会	磁場対流系間欠性カオスのマルチスケールリング解析	2009年3月30日	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
N. Bekki, K. Kiyono and H. Konno	Non-Gaussian Statistics of Intermittent Chaos in Boussinesq Magnetoconvection	10	2008年	Pacific Science Review

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成22年4月2日

日本大学総長 殿

氏 名 高橋富久



所属・資格 歯学部・准教授

下記のとおり提出いたします。

1 種目	奨励研究 / <input checked="" type="radio"/> 一般研究(個人研究) / 一般研究(共同研究) / 総合研究			注：該当する種目を○で囲んでください。																																			
2 研究課題	未分化間葉系細胞 ROB-C26 の骨芽細胞分化における MKP-1 の作用メカニズムの解明																																						
3 研究組織（共同研究・総合研究のみ該当します）	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者（役割分担） 																																						
4 学会発表等（要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>発表者名</th> <th>学会名</th> <th>発表テーマ</th> <th>発表年月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高橋富久</td> <td>第115回日本解剖学会全国学術集会</td> <td>Runx2 と MKP1 の相互作用が前脂肪細胞の骨芽細胞分化を促進する</td> <td>2010年3月</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	高橋富久	第115回日本解剖学会全国学術集会	Runx2 と MKP1 の相互作用が前脂肪細胞の骨芽細胞分化を促進する	2010年3月																											
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月																																				
高橋富久	第115回日本解剖学会全国学術集会	Runx2 と MKP1 の相互作用が前脂肪細胞の骨芽細胞分化を促進する	2010年3月																																				
5 著書・雑誌論文（著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>著者・執筆者</th> <th>著書名・雑誌名／論文名</th> <th>巻・号</th> <th>年月</th> <th>出版社・発行所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高橋富久</td> <td>Runx2 過剰発現は mesenchymal progenitor cell line 8ROB-C26)の脂肪細胞分化を抑制する。</td> <td>84・1/2号</td> <td>2010年6月</td> <td>日本大学歯学会</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所	高橋富久	Runx2 過剰発現は mesenchymal progenitor cell line 8ROB-C26)の脂肪細胞分化を抑制する。	84・1/2号	2010年6月	日本大学歯学会																									
著者・執筆者	著書名・雑誌名／論文名	巻・号	年月	出版社・発行所																																			
高橋富久	Runx2 過剰発現は mesenchymal progenitor cell line 8ROB-C26)の脂肪細胞分化を抑制する。	84・1/2号	2010年6月	日本大学歯学会																																			

※ホームページ等での公開の 可 否 いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
<p>(知的財産権の取得) 特記事項なし</p> <p>(外部資金の獲得) 特記事項なし</p> <p>(他の研究への発展) Runx2 と MKP-1 の遺伝子導入は mesenchymal progenitor cell の ROB-C26 よりも脂肪細胞へ commit した前脂肪細胞の骨芽細胞分化を強力に促進したことから, 将来的に骨髄細胞への遺伝子導入を試み <i>in vivo</i> での強制発現系の確立へ発展させたい。</p> <p>(その他) 特記事項なし</p>			

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

注：課題番号を記入してください。

平成20年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 27 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 武 市 収



所属・資格 歯学部・専任講師

下記のとおり提出いたします。

1 種目	一般研究(個人研究) / <u>一般研究(共同研究)</u> / 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。		
2 研究課題	根尖性歯周炎における血管内皮カドヘリンと CXC ケモカインの関与について			
3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> 研究代表者 研究分担者 (役割分担) 			
4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)				
発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月	
濱真史、武市収、他	第 128 回日本歯科保存学会	Nitric oxide は歯根肉芽種中の vascular endothelial cadherin を抑制し血管透過性に関与する	2008 年 6 月	
Takeichi O. <i>et al.</i>	86 th general session of IADR	Nitric oxide controls VE-cadherin-mediated vascular integrity in periapical granulomas	2008 年 7 月	
羽鳥啓介、武市収、他	第 131 回日本歯科保存学会	歯根肉芽種中の血管内皮細胞による midkine 及び chemokine 発現	2009 年 10 月	
5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)				
著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Takeichi O. <i>et al.</i>	International Endodontic Journal / Confocal immunolocalization of VE-cadherin and CXC chemokine-expressing endothelial cells in periapical granulomas	41・5	2008	Wiley Blackwell

※ホームページ等での公開の (可) 否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表／掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
(外部資金の獲得)			
(他の研究への発展)			
(その他)			

* 課題番号	個 08-100
--------	----------

注：課題番号を記入してください。

平成 20 年度 学術研究助成金成果物報告書

平成 22 年 3 月 31 日

日 本 大 学 総 長 殿

氏 名 會田 有希子

所属・資格 歯学部・助教



下記のとおり提出いたします。

1 種目	<input type="checkbox"/> 奨励研究 <input checked="" type="checkbox"/> 一般研究(個人研究) / <input type="checkbox"/> 一般研究(共同研究) / <input type="checkbox"/> 総合研究	注：該当する種目を○で囲んでください。
------	--	---------------------

2 研究課題	ヒト正常軟骨細胞の細胞外マトリックス代謝に及ぼす IL-6 の影響の解明
--------	--------------------------------------

3 研究組織 (共同研究・総合研究のみ該当します)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究代表者 ・研究分担者 (役割分担)
---------------------------	---

4 学会発表等 (要旨集の抜き刷り、発表原稿のコピー等及び発表したことがわかるものを添付してください。)
--

発表者名	学会名	発表テーマ	発表年月
A. Namba, Y. Aida 他 6 名	86th General Session and Exhibition of the IADR	IL-6 and sIL-6R Increase Cartilage Matrix Proteins Expression In Chondrocyte.	2008 年 7 月
難波亜希, 本田和寛, 會田有希子 他 4 名	第 26 回日本骨代謝学会学術集会	軟骨細胞の基質タンパク代謝に及ぼす IL-6 と s IL-6 R の影響	2008 年 10 月
本田和寛, 會田有希子 他 6 名	第 18 回硬組織再生生物学会学術大会	軟骨細胞の骨・軟骨タンパク代謝に及ぼす IL-6 と sIL-6R の影響	2009 年 9 月

5 著書・雑誌論文 (著書・雑誌・抜き刷り等を添付してください。コピーの場合は掲載されたことが客観的にわかるものを添付してください。)

著者・執筆者	著書名・雑誌名/論文名	巻・号	年月	出版社・発行所
Y. Watanabe, A. Namba, Y. Aida 他 5 名	Mediators of Inflammation / IL-1 β suppresses the formation of osteoclasts by increasing OPG production via an autocrine mechanism involving celecoxib-related prostaglandins in chondrocytes.	2010	2010年2月	Hindawi Publishing Corporation

※ホームページ等での公開の (可)・否) いずれかを○で囲んでください。否の場合は、理由書を添付して下さい。

6 その他の発表 新聞掲載			
発表/掲載者名	新聞名 (朝刊・夕刊)	掲載年月日	
なし			
その他 (ビデオ, CD, シナリオ, 写真, 舞台等)			
氏名	提出物	内容	数量
なし			
7 その他の成果 (下記のような成果があれば記入してください。)			
(知的財産権の取得)			
なし			
(外部資金の獲得)			
平成 20 年度科学研究費補助金 若手研究 (B) 課題番号 19791384 軟骨細胞に視点をおいた顎関節症の発症機序と病態の推移の解明			
(他の研究への発展)			
<p>本研究は、軟骨細胞を Interleukin (IL) -6 と soluble IL-6 受容体 (sIL-6r) で刺激することにより、軟骨細胞の動態がどのように変化するかを細胞および分子生物学的に明らかにすることを目的とした。軟骨細胞には、ヒト正常軟骨細胞を用い、基質の分解とその調節を担う matrix metalloproteinases (MMPs), tissue inhibitor of matrix metalloproteinase (TIMPs), plasminogen activators (PAs) および plasminogen activator inhibitor (PAI) -1 の遺伝子発現を real-time PCR 法で、タンパク発現を ELISA 法にて、Phosphorylation-ERK (p-ERK) の発現は Western blotting 法を用いて調べた。また、シグナル伝達経路は MEK の活性阻害剤である PD98059 を同時刺激して調べた。その結果、MMP-1, -13 および TIMP-1 の発現が有意に増加した。MMP-13 の発現は、PD98059 の存在下でコントロールレベルまで低下し、また、p-ERK の発現は IL-6 と sIL-6r の同時刺激で増加した。以上より、IL-6 と sIL-6r が軟骨細胞において MEK と p-ERK の活性を通してコラゲナーゼとそれらの抑制剤の生産を刺激することが示唆された。</p> <p>今後は本研究を基に、macrophage colony-stimulating factor や osteoprotegerin などの軟骨・骨破壊とその調節に関与する因子の発現を調べ、軟骨破壊から骨破壊への病態の推移の一端を細胞および分子生物学的に解明する。</p>			
(その他)			
なし			